

2010年1月1日～2026年8月31日の間に 膀胱癌に対して膀胱MRI検査を受けられた方およびご家族の方へ

「筋層浸潤性膀胱癌で見られる peritumoral enhancement 陽性例と陰性例における臨床的・画像的
特徴の相違点の検討」への ご協力をお願い

本研究の内容は、研究に参加される方の権利を守るため、研究を実施することの適否について川崎医科大学・同
附属病院倫理委員会にて審査され、既に審議を受け、承認を得ています。また、学長と病院長の許可を得ていま
す。

研究責任者	川崎医科大学放射線診断学	教授	玉田 勉
研究分担者	川崎医科大学放射線診断学	特任研究員	竹内 充
	川崎医科大学放射線診断学	准教授	山本 亮
	川崎医科大学放射線診断学	講師	檜垣 篤
	川崎医科大学放射線診断学	臨床助教	児嶋 優一
	川崎医科大学泌尿器科学	特任教授	宮地 禎幸
	川崎医科大学病理学	教授	森谷 卓也
	川崎医科大学放射線診断学	大学院生	渡部 博之

1. 研究の概要

膀胱癌はいかに深く広がっているかによって治療方針が異なります。現在、癌の広がりには経尿道的膀胱腫瘍切除術で腫瘍を切除して、採取された組織を顕微鏡で診断(病理診断)することが標準的な方法となっていますが、この方法は患者さんへの大きな負担があります。近年、MRIの性能が飛躍的に向上しており、我々はMRIを用いて癌の広がりの程度を正確する方法を開発するために研究を行っています。

日頃、癌が深く広がっている患者さんのMRI画像を見ていると、造影剤を使用した画像で癌が広がり先の先端部分に“造影剤の集まりが多い部分”=腫瘍辺縁部造影効果があることに気付きました。我々の研究ではこの腫瘍辺縁部造影効果がみられる癌は、膀胱の筋層という部分まで深く広がっていることをすでに明らかにしました。

この研究では、腫瘍辺縁部造影効果がいったいなにを表しているのか? どうしてこの所見が現れるのかを明らかにしようとしています。

2. 研究の方法

1) 研究対象者

2010年1月1日～2026年8月31日の間に、膀胱癌に対して膀胱MRI検査を受けられおり、手術で筋層浸潤性膀胱癌と診断されている約50名の患者さんを研究対象とします。

2) 研究期間

倫理委員会承認日 ~ 2026年12月31日

3) 研究方法

筋層浸潤性膀胱癌を腫瘍辺縁部造影効果が陽性のグループと陰性のグループに分けます。陽性のグループと陰性のグループとで、患者さんのカルテ情報(年齢、性別、膀胱MRI検査日、経尿道的膀胱腫瘍切除(TURBT)手術日、膀胱全摘術手術日、病理診断日、癌の組織型、癌の悪性度、筋層浸潤の有無、BCG治療歴、膀胱注入化学療法歴、喫煙歴、糖尿病の既往の有無、前立腺肥大症の既往の有無)およびMRI所

見がどのように違うのかを調査します。

患者さんのカルテ情報とMRI検査は通常の診療の過程で撮影されたものを振り返って検討しますので、患者さんには新たに追加の検査を受けていただく必要はありません。

4) 使用する情報の種類

MRI画像、病理所見、カルテ情報(年齢、性別、膀胱MRI検査日、経尿道的膀胱腫瘍切除(TURBT)手術日、膀胱全摘術手術日、病理診断日、癌の組織型、癌の悪性度、筋層浸潤の有無、BCG治療歴、膀胱注入化学療法歴、喫煙歴、糖尿病の既往の有無、前立腺肥大症の既往の有無)。

5) 外部への情報の提供

ありません。

6) 情報の保存及び二次利用

この研究に使用した情報は、論文等の発表から5年間、川崎医科大学放射線診断学実験室内で保存させていただきます。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピューターに保存し、その他の情報は施錠可能な保管庫に保存します。また、この研究に使用した情報は今後別の研究に二次利用させていただく可能性があります。その際には倫理委員会にて承認を得ます。

7) 研究計画書および個人情報の開示

あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。

この研究は氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できるデータをわからない形にして、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、あなたの情報が研究に使用されることについて、あなたもしくは代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、2026年10月30日までの間に下記の連絡先までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者さんに不利益が生じることはありません。

<問い合わせ・連絡先>

川崎医科大学附属病院 放射線科(画像診断)

氏名:竹内 充

電話:086-462-1111 内線25502(平日:9時00分~16時30分)

ファックス:086-464-1123

Email:roentgen@med.kawasaki-m.ac.jp

<研究組織>

研究代表機関:川崎医科大学附属病院 研究代表者:竹内 充

研究責任者:川崎医科大学附属病院 放射線科 玉田 勉

3. 資金と利益相反

この研究は学内研究費を用いて行われますが、学外からの資金の受け入れはありません。

研究をするために必要な資金をスポンサー(製薬会社等)から提供してもらうことにより、その結果の判断に利害が発生し、結果の判断にひずみが生じかねない状態を利益相反状態といいます。

本研究に関する利益相反の有無および内容について、川崎医科大学利益相反委員会に申告し、適正に管理されています。